

# 兵庫県の棚田に分布する畦畔法面草原の保全に向けた研究



自然・環境再生研究部 生物資源研究グループ

石田 弘明

棚田の畦畔法面に広がる草原（畦畔法面草原）は様々な在来植物から構成されており、その存在は大変重要です。しかし、圃場整備や利用・管理の放棄などによって、畦畔法面草原は全国各地で急激に減少しています。このような危機的状況にある畦畔法面草原を保全するためには、まず第一にその実態を把握することが必要です。

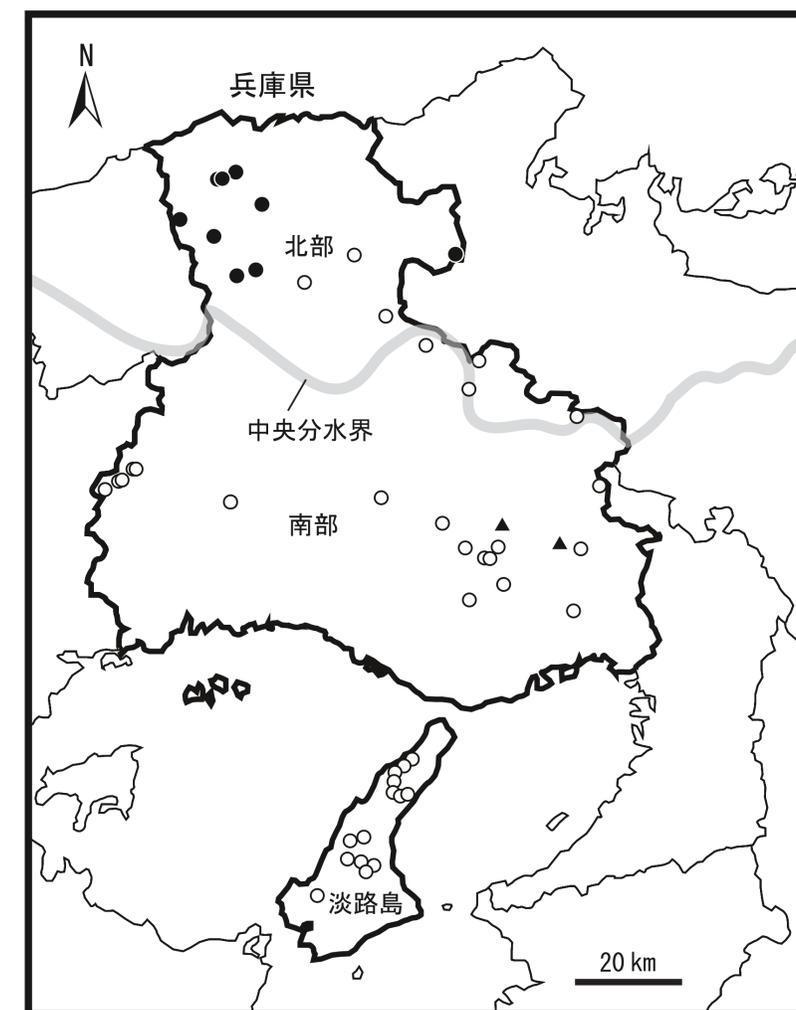
このような課題を解決するために、兵庫県各地で畦畔法面草原の植生調査を行いました（調査対象とした棚田は48箇所）。収集したデータを解析したところ、兵庫県の畦畔法面草原は種組成の違いによって3つのタイプに区分されることがわかりました。また、種組成の違いには気温、降水量、降雪量が大きく関係していることが示唆されました。



棚田の景観



棚田の畦畔法面草原



調査対象とした棚田の位置。畦畔法面草原は種組成の違いによって3つのタイプ（A、B、C）に区分されました。●はタイプA、○はタイプB、▲はタイプCがみられた棚田。